

2021年3月期

株式会社エイジス

# 決算説明会

2021年5月14日（金）



Your Partner in Retail Solutions

# agenda

- 1 グループ概要
- 2 2021年3月期 業績報告・総括
- 3 次期中期経営計画
- 4 2022年3月期 業績見通し・重点取り組み

# agenda

- 1 グループ概要
- 2 2021年3月期 業績報告・総括
- 3 次期中期経営計画
- 4 2022年3月期 業績見通し・重点取り組み

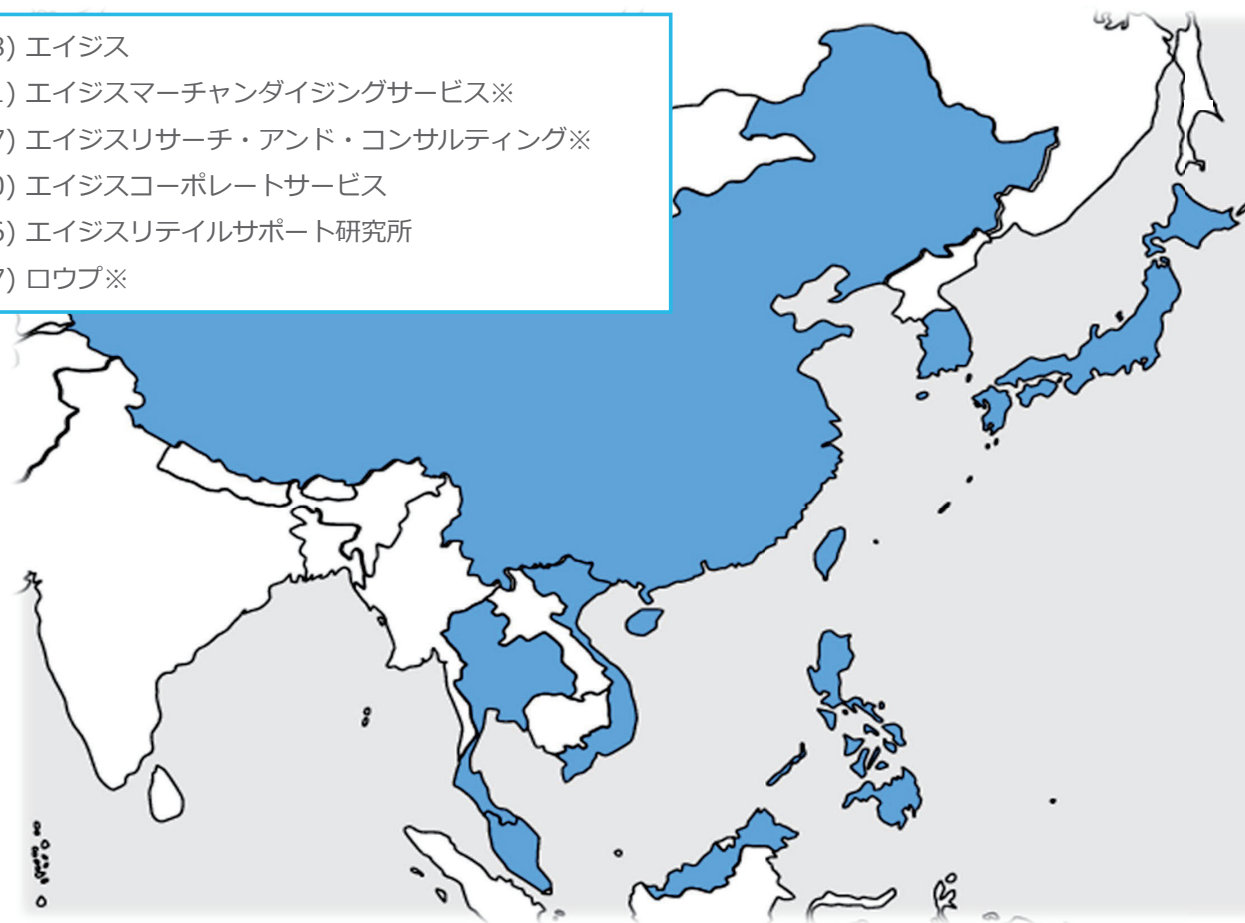
● 『アジアのリテイルサポートサービスグループ』としてアジア各国で事業展開

- (1978) エイジス
- (2001) エイジスマーチャンダイジングサービス※
- (2007) エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング※
- (2010) エイジスコーポレートサービス
- (2016) エイジスリテイルサポート研究所
- (2017) ロウプ※

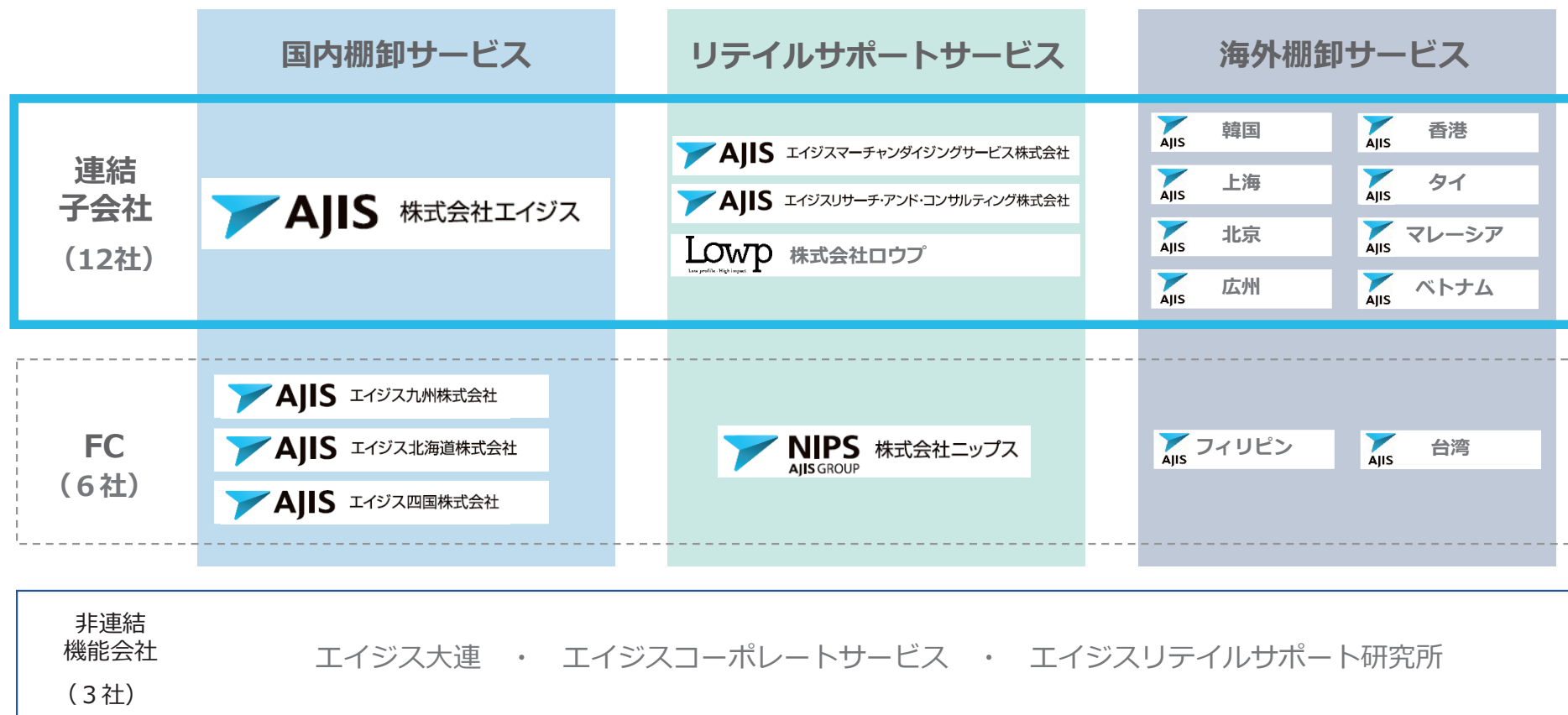
( )内は設立年  
 ※は連結子会社  
 <2021年3月末現在>

- (1982)エイジス九州
- (1984)エイジス北海道
- (1992)エイジス四国
- (1995)ニップス

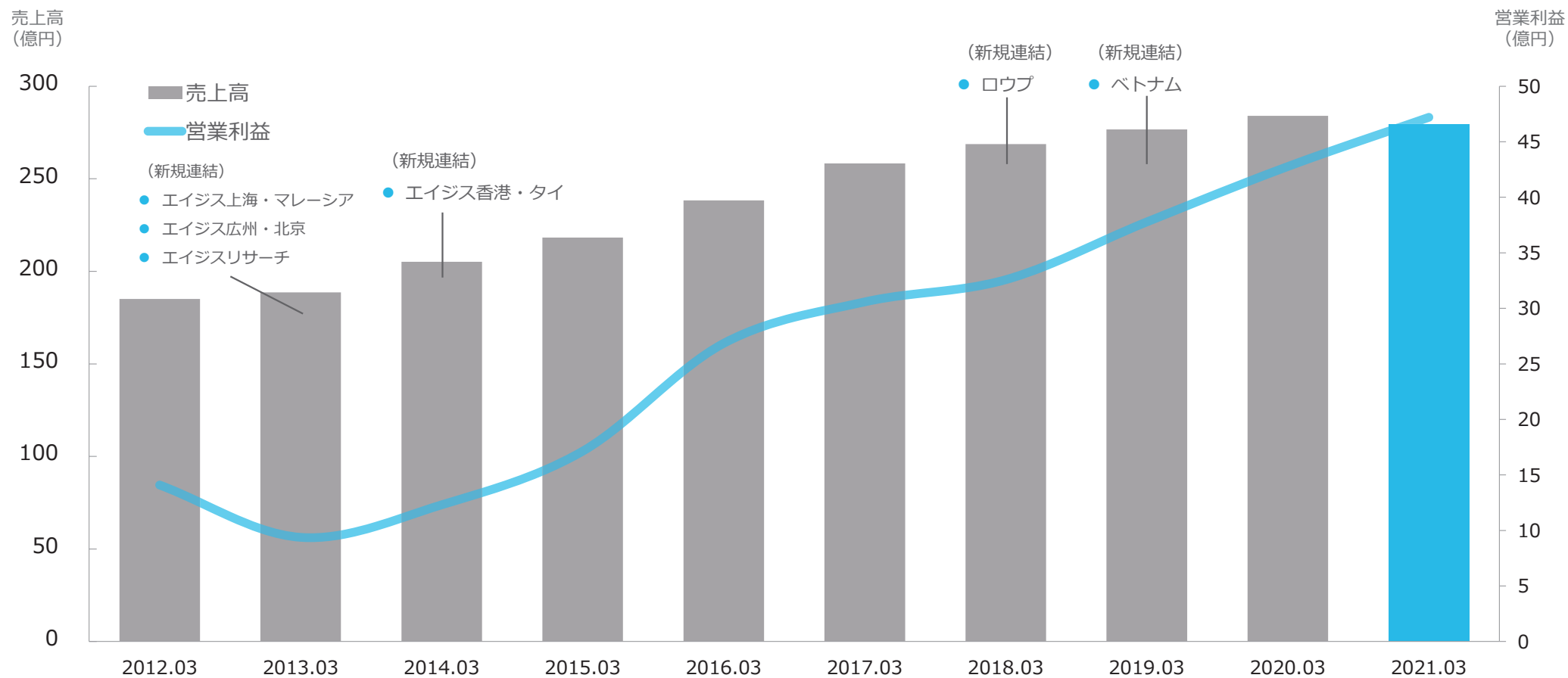
- (2003)韓国※
- (2004)大連
- (2009)上海※
- (2009)台湾
- (2009)マレーシア※
- (2011)北京※
- (2011)広州※
- (2011)香港※
- (2011)タイ※
- (2016)フィリピン
- (2016)ベトナム※



●国内外22社で構成し、アジア各国のチェーンストアにサービスを提供



●売上高は10期振りの減収となるも8期連続で増益を確保



# agenda

- 1 グループ概要
- 2 2021年3月期 業績報告・総括
- 3 次期中期経営計画
- 4 2022年3月期 業績見通し・重点取り組み

# 新型コロナウイルスによる影響



- **新型コロナウイルス感染症が世界に拡散し、当社事業にも大きく影響**

## セグメント別の主な影響

### <国内棚卸サービス>

- ・ 緊急事態宣言発出以降、一部顧客において感染症対策に伴う発注の中止等が発生
- ・ 第2四半期までサービス受注において影響を受けたが、2020年10月以降は概ね前年同様の受注量であった

### <リテイルサポートサービス>

- ・ 「巣ごもり消費」による消費者の購買行動の変化により、商品補充業務の受注量が増加
- ・ 2020年10月以降は雇用状況の変化等の要因により一部顧客において商品補充作業の内製化が発生した
- ・ 店舗改装サービスにおいては、一部延期が発生したものの全体では例年以上に改装ニーズが高まった

### <海外棚卸サービス>

- ・ 韓国及び香港を除く各国では都市封鎖の影響を受け、一定期間の事業停止を余儀なくされた
- ・ 2020年5月以降は全拠点にて営業を再開するも顧客の業績悪化に伴う発注店舗数の減少や、移動制限によるサービス提供不可など、厳しい状況が続いた

# 連結業績

## 連結業績は減収・増益

新型コロナウイルス感染症の影響により減収となるも、国内棚卸サービスと  
リテイルサポートサービスの増益により連結で増益を確保

売上高 27,966百万円 | 前期比 98.5% | 計画比 99.9%

営業利益 4,720百万円 | 前期比110.4% | 計画比107.3%

- 売上高は前期比マイナスとなるも概ね計画通りに推移した
- 営業利益は前期比・計画比ともに達成（2020年10月15日業績予想修正）

単位：百万円

	2019.03期 実績	2020.03期 実績	2021.03期 実績	前期比	増減額	2021.03期 計画※	計画比	増減額
売上高	27,669	28,402	<b>27,966</b>	98.5%	△436	28,000	99.9%	△33
売上総利益	8,401	8,787	<b>9,199</b>	104.7%	+411	9,198	100.0%	0
対売上比	30.4%	30.9%	<b>32.9%</b>	—	+2.0%	32.9%	—	+0.0%
販売管理費	4,623	4,510	<b>4,478</b>	99.3%	△31	4,798	93.3%	△320
対売上比	16.7%	15.9%	<b>16.0%</b>	—	+0.1%	17.1%	—	△1.1%
営業利益	3,778	4,277	<b>4,720</b>	110.4%	+443	4,400	107.3%	+320
対売上比	13.7%	15.1%	<b>16.9%</b>	—	+1.8%	15.7%	—	+1.2%
経常利益	3,828	4,343	<b>4,862</b>	112.0%	+519	4,462	109.0%	+400
対売上比	13.8%	15.3%	<b>17.4%</b>	—	+2.1%	15.9%	—	+1.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,634	3,011	<b>3,187</b>	105.8%	+176	2,968	107.4%	+219
対売上比	9.5%	10.6%	<b>11.4%</b>	—	+0.8%	10.6%	—	+0.8%

※計画数値は2020年10月15日公表時の予想値を記載しております。

●売上高・営業利益ともリテイルサポートサービスが大きく増加

単位：百万円

売上高	2019.03期 実績	2020.03期 実績	2021.03期 実績	前期比	増減額	2021.03期 計画	計画比	増減額
セグメント合計	27,669	28,402	<b>27,966</b>	98.5%	△436	28,000	99.9%	△33
国内棚卸サービス	17,435	17,303	<b>16,765</b>	96.9%	△537	17,000	98.6%	△234
リテイルサポートサービス	7,819	8,719	<b>9,580</b>	109.9%	+861	9,450	101.4%	+130
海外棚卸サービス	2,705	2,574	<b>1,769</b>	68.7%	△805	1,830	96.7%	△60
消去	△290	△195	△ <b>149</b>	—	+45	△280	—	+130

営業利益	2019.03期 実績	2020.03期 実績	2021.03期 実績	前期比	増減額	2021.03期 計画	計画比	増減額
セグメント合計	3,778	4,277	<b>4,720</b>	110.4%	+443	4,400	107.3%	+320
国内棚卸サービス	3,057	3,594	<b>3,719</b>	103.5%	+124	3,650	101.9%	+69
リテイルサポートサービス	488	530	<b>1,089</b>	205.5%	+559	850	128.2%	+239
海外棚卸サービス	202	133	△ <b>109</b>	—	△242	△110	—	+0
消去	31	19	<b>21</b>	111.1%	+2	10	215.4%	+11

# 国内棚卸サービス

## 国内棚卸サービスは減収増益

- 売上高 16,765百万円 | 前期比 96.9% | 計画比98.6%
- 営業利益 3,719百万円 | 前期比103.5% | 計画比101.9%

## 売上増減要因

- 新型コロナウイルス感染症の影響による中止や実施店舗数の減少
- 既存顧客の店舗における在庫数量の減少
- 「巣ごもり消費」ニーズを受けたコンビニエンスストアの部分改装サービスの受注

## 生産性向上要因

- 経験者比率の向上
- 生産性向上施策の実行及び成功事例の水平展開
- オペレーションシステム及び端末のソフトウェア改良による効率化

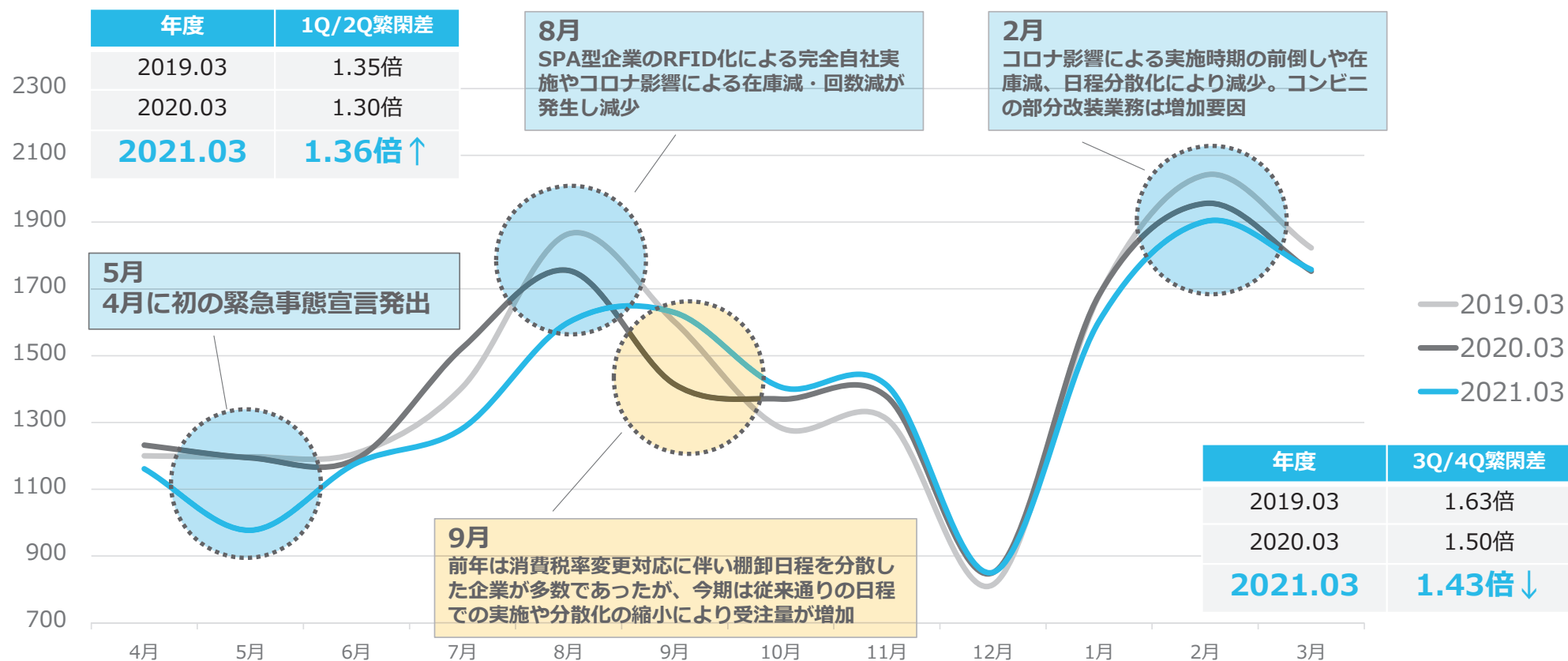
- 売上高は減少するも生産性向上施策により売上総利益は増加
- 次世代棚卸業務システム開発経費による販売管理費の増加

単位：百万円

	2019.03期 実績	2020.03期 実績	2021.03期 実績	前期比	増減額
売上高	17,435	17,303	<b>16,765</b>	96.9%	△537
売上総利益	6,247	6,705	<b>6,892</b>	102.8%	+187
対売上比	35.8%	38.8%	<b>41.1%</b>	—	+2.4%
販売管理費	3,190	3,111	<b>3,173</b>	102.0%	+62
対売上比	18.3%	18.0%	<b>18.9%</b>	—	+0.9%
営業利益	3,057	3,594	<b>3,719</b>	103.5%	+124
対売上比	17.5%	20.8%	<b>22.2%</b>	—	+1.4%

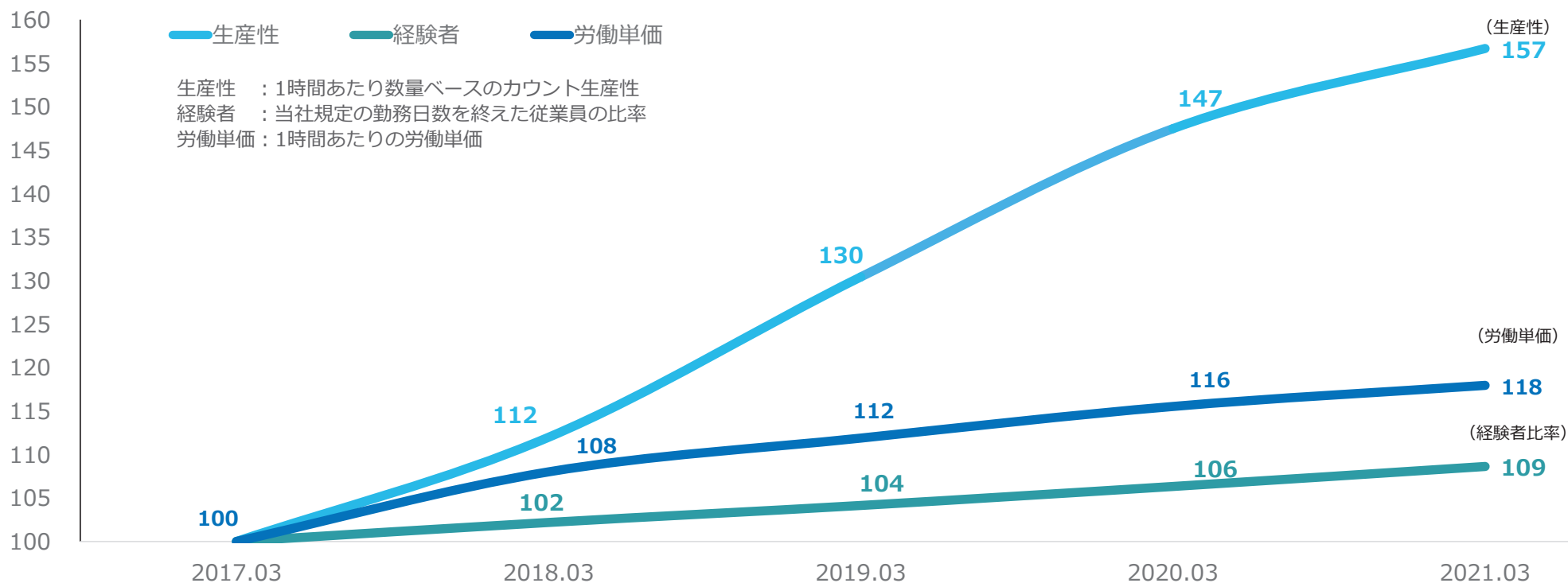


- コロナによる発注店舗数の減少や在庫数量減少の影響もあった一方で、2020年10月以降は日程分散化や循環棚卸導入も進み、繁閑格差は是正傾向になった



- 生産性は前期比6.4%伸長。主な要因は繁閑格差是正による経験者比率の上昇に加え現場主導の生産性向上施策の実行と水平展開
- 労働単価は前期比2.1%上昇するも、生産性向上により上昇コストを吸収した

2017.03期の数値を100とした場合の推移



# リテイルサポートサービス

【対象会社】エイジスマーチャンダイジングサービス（AMS）、エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング（ARC）、ロウプ

### ■ セグメントでは増収増益、営業利益は初めて1,000百万円超を実現

- 売上高 9,580百万円 | 前期比109.9% | 計画比101.4%
- 営業利益 1,089百万円 | 前期比205.5% | 計画比128.2%

### ■ 売上増減要因

- AMS 店舗改装業務の増加、巣ごもり消費による商品補充業務の受注量増加が主な要因
- ARC リサーチサービスの中止が相次いだが、今年に入り飲食店営業状況調査を獲得
- ロウプ コロナ禍においても複数の大型案件を獲得できた

### ■ 営業利益増減要因

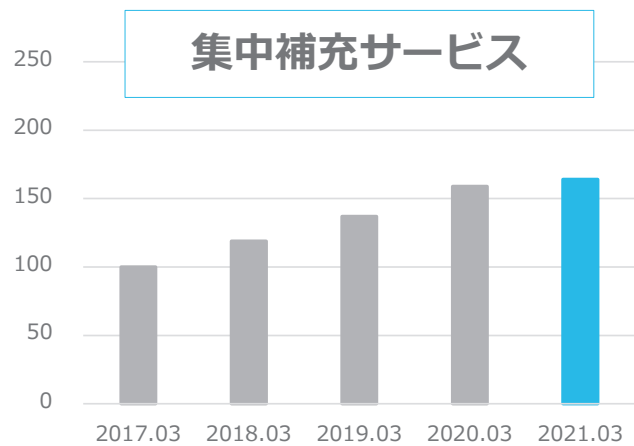
- AMS 売上増加に伴う利益の増加に加え、補充と改装それぞれの生産性を向上させ増益とした
- ARC 大幅な売上減少に対し、売上原価と販売管理費をコントロールし黒字を確保した
- ロウプ 多くの案件獲得に対し、社内外リソースの効率的な活用により大幅な増益とした

- 店舗改装業務の増加に加え、各社の生産性向上取り組みや原価コントロールにより売上総利益が大きく伸長した
- 売上高が増加する中でコロナ禍における働き方の変化への対応が販売管理費の圧縮に繋がった

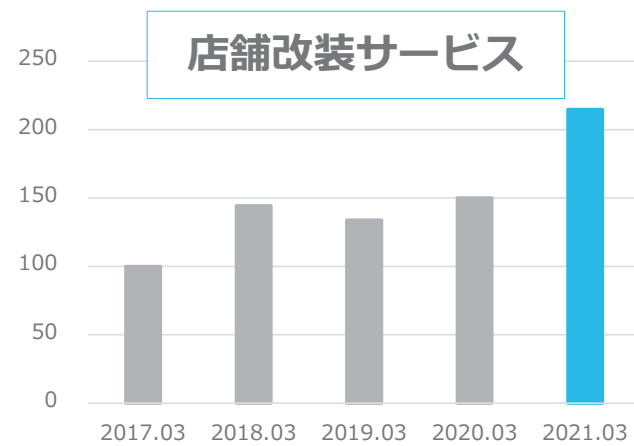
単位：百万円

	2019.03期 実績	2020.03期 実績	2021.03期 実績	前期比	増減額
売上高	7,819	8,719	<b>9,580</b>	109.9%	+861
売上総利益	1,455	1,471	<b>2,086</b>	141.8%	+614
対売上比	18.6%	16.9%	<b>21.8%</b>	—	+4.9%
販売管理費	967	941	<b>997</b>	105.9%	+55
対売上比	12.4%	10.8%	<b>10.4%</b>	—	△0.4%
営業利益	488	530	<b>1,089</b>	205.5%	+559
対売上比	6.2%	6.1%	<b>11.4%</b>	—	+5.3%

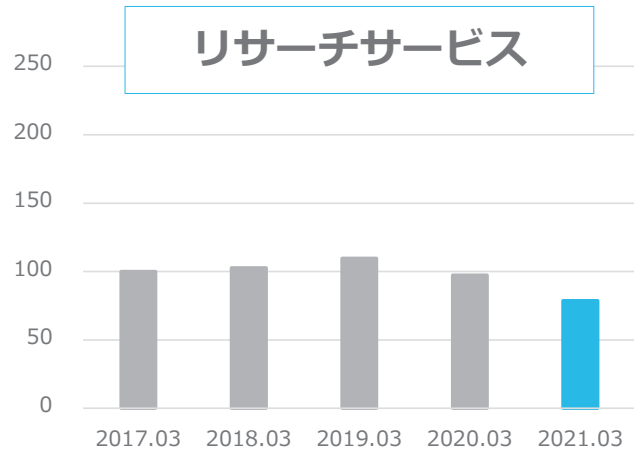
# リテイルサポートサービス サービス別売上高推移と要因



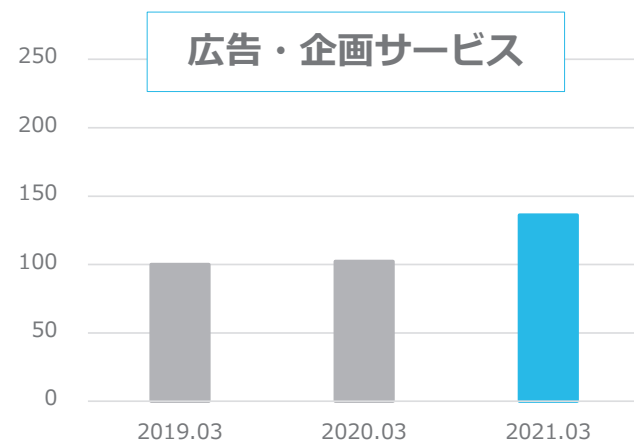
- 増加要因**
- 既存企業の店舗増
  - 受注作業量の増加
- 減少要因**
- インバウンド型店舗の中止
  - 採用状況の好転等による内製化



- 増加要因**
- 巣ごもり消費による店舗サポート業務の受注
  - 前年未実施の改装案件の取り込み
- 減少要因**
- 受注エリア減少



- 増加要因**
- 行政からの飲食店営業状況調査の獲得
- 減少要因**
- 感染拡大防止を目的としたサービスの中止
  - 顧客の業績不振によるサービスの中止



- 増加要因**
- 新規案件の獲得
- 減少要因**
- コロナの影響により一部顧客の案件が中止

2017.03期を100とした指数（広告・企画サービスは2019.03期を100とした指数）

# 海外棚卸サービス

【対象会社】 韓国、上海、北京、広州、香港、マレーシア、タイ、ベトナム

## ■ セグメントでは減収、営業利益は赤字となる

- 売上高 1,769百万円 | 前期比68.7% | 計画比96.7%
- 営業利益 △109百万円 | 前期比△242百万円 | 計画比0.5百万円の達成

## ■ 売上増減要因

- 韓国・香港以外では都市封鎖が発生、一定期間の事業停止を余儀なくされた
- 既存顧客の業績悪化に伴う棚卸中止や発注店舗数の減少
- コロナ禍において新規顧客獲得や既存顧客の実施工エリア拡大など2022年3月期に繋がる案件の獲得も出来た



- 新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に売上高が減少した
- 事業再開に向けた対応や顧客獲得を最優先とし取り組みを行った

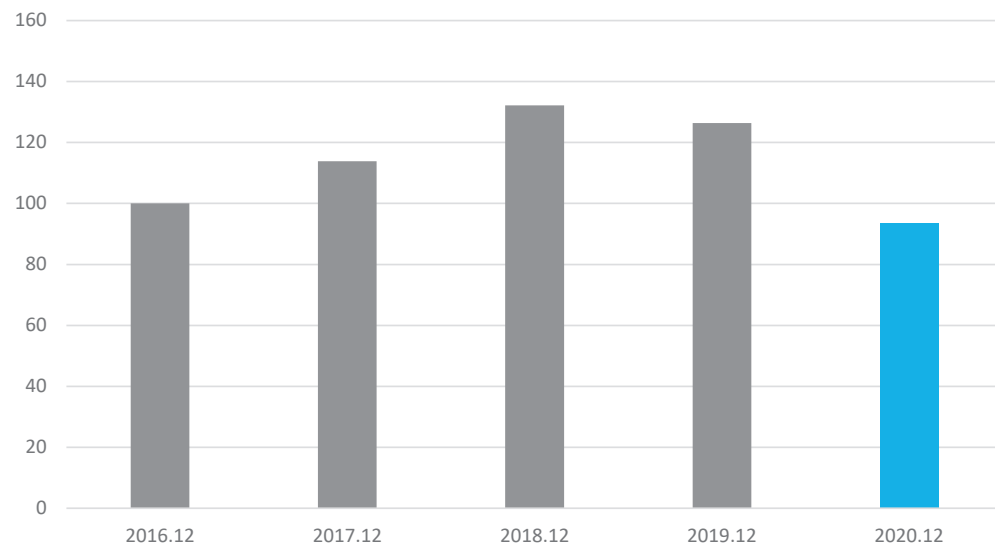
単位：百万円

	2019.03期 実績	2020.03期 実績	2021.03期 実績	前期比	増減額
売上高	2,705	2,574	<b>1,769</b>	68.7%	△805
売上総利益	819	710	<b>349</b>	49.2%	△361
対売上比	30.3%	27.6%	<b>19.7%</b>	—	△7.9%
販売管理費	617	576	<b>458</b>	79.5%	△118
対売上比	22.8%	22.4%	<b>25.9%</b>	—	+3.5%
営業利益	202	133	△ <b>109</b>	—	△242
対売上比	7.5%	5.2%	—	—	—

- 東アジア地域ではコロナによる売上減少要因はあったが、新規顧客の獲得や既存顧客のエリア拡大など2022年3月期に繋がる結果を残せた
- アセアン地域では営業再開後も断続的な移動制限などの制約を受けたことが大きく影響した

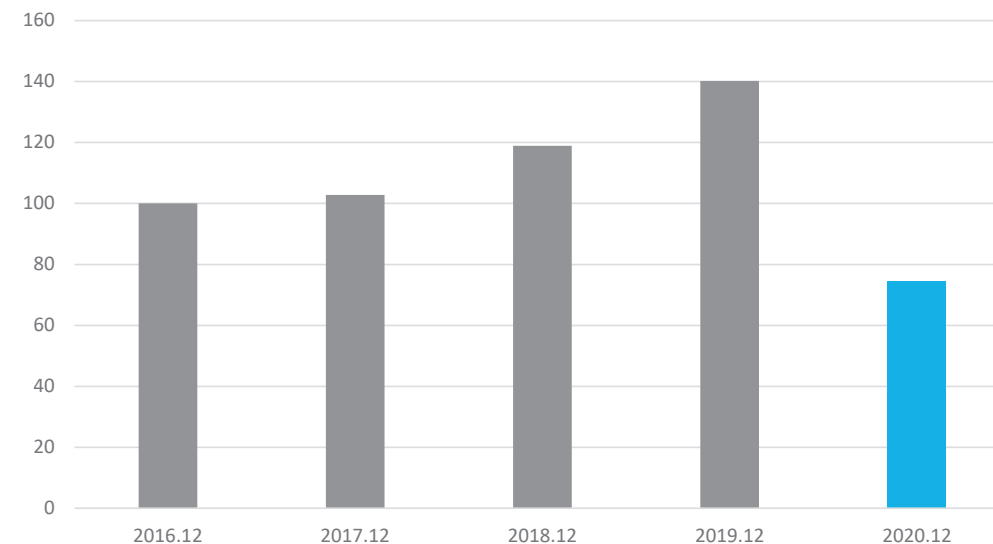
## 東アジア

韓国、上海、北京、広州、香港、



## アセアン

マレーシア、タイ、ベトナム



※2016.12期を100とした指数

## ● 韓国・香港を除くその他の進出地域で都市封鎖が実施され、一定期間の事業停止を余儀なくされた

### 中国

- ・都市封鎖期間 | 約1ヶ月半
- ・一部顧客の業績不振による内製化
- ・一部リテイルサポート業務の発注減

### タイ

- ・都市封鎖期間 | 67日
- ・一部顧客の業績不振による内製化
- ・同様の理由による発注店舗数減少

### マレーシア

- ・都市封鎖期間 | 83日
- ・一部顧客の業績不振による内製化

### 韓国

- ・都市封鎖無し

### 香港

- ・都市封鎖無し

### ベトナム

- ・都市封鎖期間 | 21日
- ・移動制限のため、実施できない企業あり



グレー = 都市封鎖実施地域

# 2021.03期 重点取り組み総括

## ● 生産性を追求し、さらなる収益力の向上に挑戦する

重点項目	計画	実績	評価
フィールド外生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革、オフィス業務の効率化を推進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン商談やイベント、テレワークの推進を行った</li> <li>事業所の業務集約化の取り組み推進</li> <li>本部の業務効率化は進まず</li> </ul>	△
フィールド生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業生産性向上に向けた新棚卸業務システムの開発と新端末導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新棚卸業務システム開発は継続中</li> <li>新端末については全拠点導入完了</li> </ul>	△
ダイバーシティ経営の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な人材を受け入れる環境を整備し、イノベーションを生み出す企業へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理的安全性を実現するための組織を構築するために社員教育、制度の検討、イベントを実施</li> </ul>	△

● 顧客にとって価値の高いリテイルサポートサービスを確立する

重点項目	計画	実績	評価
<p>集中補充サービスの 拡販と生産性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データに基づいた適正人員配置の実行</li> <li>● 作業レベルで工程分析し、標準オペレーションを構築する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● IE手法による稼働分析調査を実施、標準オペレーション構築には至らず</li> <li>● 作業量に応じた人員配置を実現するクルーイングシステムを構築</li> </ul>	
<p>店舗改装サービスの 拡販と生産性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 店舗改装サービスを再定義し、サービス化する</li> <li>● 米国の導入事例を研究し、サービス開発を行う</li> <li>● データに基づいた作業計画の作成と進捗管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響により米国の導入事例研究が滞り、店舗改装サービスの再定義に至らず</li> <li>● データに基づいた作業計画の作成と進捗管理により生産性は28%向上</li> </ul>	
<p>次世代リテイルサポート サービスの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当社が保有するデータ活用の研究</li> <li>● 当社が保有するデータを活用した新サービスの開発</li> <li>● 情報活用により、既存サービスに付加価値を与える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 賞味期限チェックサービスの拡販</li> <li>● 当社保有データと顧客保有データの組み合わせによる情報提供サービスの販売</li> </ul>	

## ● 海外棚卸において最高品質のサービスの提供を実現する

重点項目	計画	実績	評価
高品質サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営基本方針を徹底し、重要項目に対して目標値を設定しマネジメントを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響により当初計画していた施策の実行には至らず</li> </ul>	—
マネジメント体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オンラインを活用したマネジメント推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響により渡航できない状態であったため、オンラインでのマネジメント支援を行った</li> </ul>	△
売上拡大施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2021年以降を見据えた顧客へのアプローチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響により新規営業活動に支障があった、東アジア地域では新規顧客の獲得や既存顧客のエリア拡大に成功した</li> </ul>	×

# agenda

- 1** グループ概要
- 2** 2021年3月期 業績報告・総括
- 3** 中期経営計画
- 4** 2022年3月期 業績見通し・重点取り組み



長期ビジョン

中期経営計画（3カ年）

# 2030年 世界を代表する 企業を目指して

人の力とデータ・テクノロジーを融合し、サービス領域を拡大

社会にとって無くてはならない企業へ



- エイジスグループの持続的成長を実現するために3つのサービスドメインを設定
- それぞれのドメインの事業拡大により、MissionとVisionの実現を目指す

## Mission & Vision

Mission

チェーンストアの発展と豊かな社会の実現

Vision

世界を代表する企業を目指して アジアのリテイルサポートサービス企業へ飛躍する

目指す姿

人の力とデータ・テクノロジーでチェーンストアの価値向上を実現する

# 01

## 棚卸サービス

提供範囲：  
チェーンストア産業



# 02

## リテイルサポート サービス

提供範囲：  
チェーンストア産業



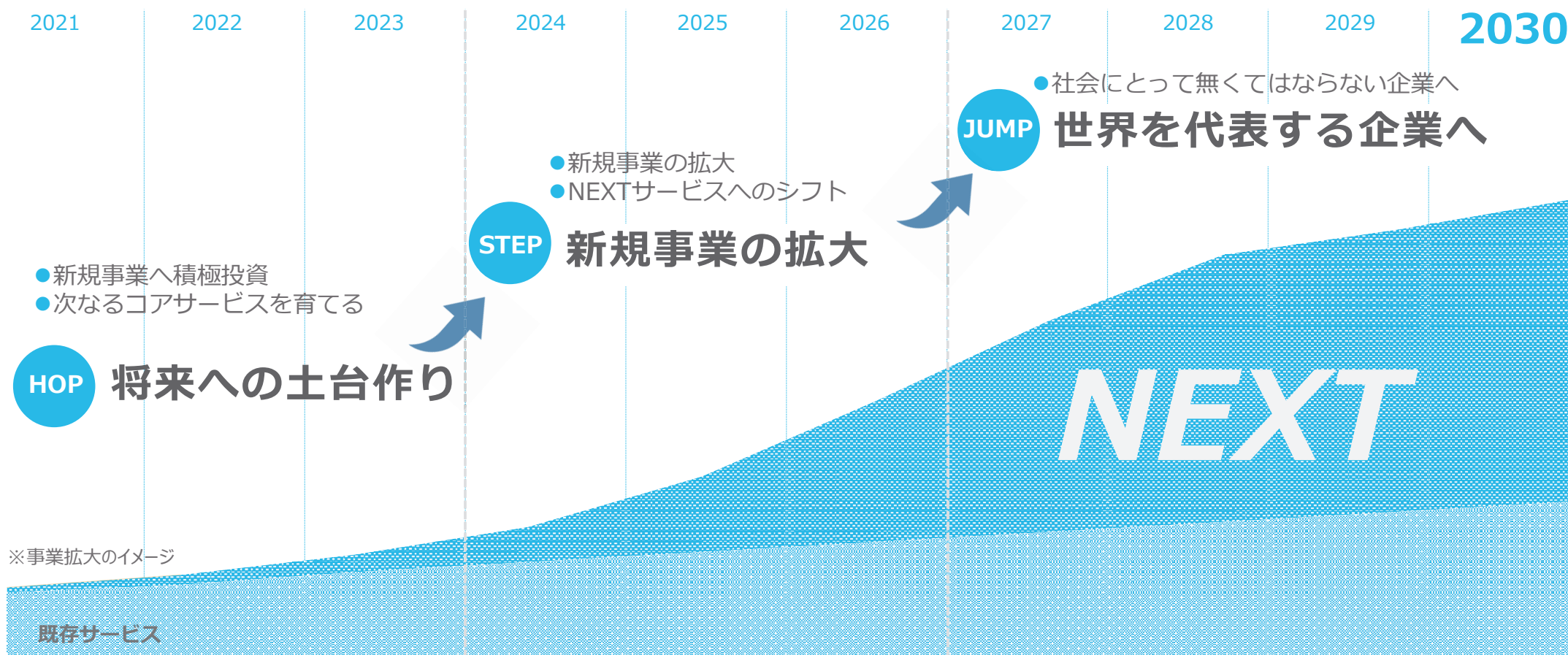
# 03

## NEXTサービス

ノウハウ、データ、システム、  
テクノロジー等を活用した  
新規サービスや新規事業  
範囲：チェーンストア産業、それ以外



## ● エイジスグループの持続的成長を実現する3つのフェーズ



The concept is

# AJIS Smart City



Locker



Shopping



Field Crew



Last one mile



Maintenance



Curbside Pickup



## AJIS Smart Cityとは

これまでの40年でAJISグループが培ってきた卓越した技術と知見。

そしてこれから取り組む研究開発や新規事業。

これらがチェーンストア産業やこれからの社会課題に対して適用させることで、豊かな社会の実現を目指す。

また、エイジスグループで働く従業員が『卓越した技術』と『誇り』を胸にサービスを提供し続けることで、社会にとって無くてはならない存在になることを目指す。



Retailへの貢献



無くてはならない存在へ



Socialへの貢献

## ドローンソリューション

ドローンを活用したソリューションの研究開発を実施。建物の外観撮影によるメンテナンス提案や上空から来店車両等の様子を確認し顧客に有益な提案を行うなど様々なソリューションを検討中。



### ドローンの活用事例

- ・ 新規オープン店舗のプロモーション
- ・ 店舗上空より車両の動きを定点観測、店舗の導線調査
- ・ 高年齢店舗の外観調査、設備調査
- ・ 所有している物件の家屋調査
- ・ 行政からの依頼による家屋調査(危険箇所調査)



安心のJUIDA認定  
オペレーターによる飛行



DIPS申請も行い  
国土交通省よりドローン飛行の承認

長期ビジョン

中期経営計画（3カ年）



**HOP** 将来への土台作りの期間とし新規事業・DX・教育に積極投資する

2021      2022      2023      2024      2025      2026      2027      2028      2029      **2030**

- 新規事業へ積極投資
- 次なるコアサービスを育てる

## 次期中期経営計画

**HOP** 将来への土台作り

※事業拡大のイメージ

既存サービス

**NEXT**

HOP

### 将来への土台作り

#### 中期経営計画5つのPOINT

##### ① 棚卸に次ぐ“事業の柱”を育てる

既存サービスの中から『選択と集中』により、棚卸に継ぐ次の事業の柱となるサービスを育てていく

##### ② 新規ビジネスを生み出す

新規事業を投資と位置付け、戦略的に新たな事業やサービス創出に取り組む事で次の新しいビジネスへの種を撒く  
エイジスグループの強み（人カ×データ×テクノロジー）から独自の新規事業や新規サービスを創出する

##### ③ 機能別組織により専門性を強化する

セールスの一本化によりナレッジの共有や提案力を高め、課題解決型営業を実現する  
管理機能の集約化により、業務（人員）を整理し、リソースをオペレーションや必要な機能に投入する  
オペレーション機能に特化することで専門性や品質・生産性向上を狙う

##### ④ DXの推進により次世代AJIS Groupを目指す

40年間の知見とデータから創出する新たなソリューションを顧客へ提供する。また次代の社会課題解決にも貢献する

##### ⑤ 心理的安全性のある組織を構築し、意見の活性化を目指す

心理的安全性のある組織の構築と意見のダイバーシティの実現により、働きがいの向上とイノベーション創出へと繋げる

- 2030年の未来に向けて『さまざまな困りごと』を解決し続けることで社会にとって無くてはならない存在へ

エイジスの強みを活かし  
チェーンストアのパートナーとして  
サービス領域を広げる



**Retailへの貢献**



**無くてはならない存在へ**

社会の困り事から  
エイジスが貢献できることを見つけ  
ソリューションを提供する



**Socialへの貢献**

# agenda

- 1 グループ概要
- 2 2021年3月期 業績報告・総括
- 3 中期経営計画
- 4 2022年3月期 業績見通し・重点取り組み

2022年3月期 業績見通し

● 新型コロナウイルス感染症の影響は続き、連結業績は減収減益を見込む

単位：百万円

	2020.03期 実績	2021.03期 実績	2022.03期 計画	前期比	増減額
売上高	28,402	27,966	<b>27,300</b>	97.6%	△666
売上総利益	8,787	9,199	<b>9,377</b>	101.9%	+178
対売上比	30.9%	32.9%	<b>34.3%</b>	—	+1.5%
販売管理費	4,510	4,478	<b>5,377</b>	120.1%	+899
対売上比	15.9%	16.0%	<b>19.7%</b>	—	+3.7%
営業利益	4,277	4,720	<b>4,000</b>	84.7%	△720
対売上比	15.1%	16.9%	<b>14.7%</b>	—	△2.2%
経常利益	4,343	4,862	<b>4,060</b>	83.5%	△802
対売上比	15.3%	17.4%	<b>14.9%</b>	—	△2.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,011	3,187	<b>2,740</b>	86.0%	△447
対売上比	10.6%	11.4%	<b>10.0%</b>	—	△1.4%

売上高	2020.03期 実績	2021.03期 実績	2022.03期 計画	前期比	増減額
セグメント合計	28,402	27,966	<b>27,300</b>	97.6%	△666
国内棚卸サービス	17,303	16,765	<b>17,100</b>	102.0%	+334
リテイルサポートサービス	8,719	9,580	<b>8,000</b>	83.5%	△1,580
海外棚卸サービス	2,574	1,769	<b>2,300</b>	130.0%	+530
消去	△195	△149	<b>△100</b>	—	+49

- 国内棚卸サービス

- ▶ 一部顧客において新型コロナウイルス感染症の影響による実地棚卸回数減等の減収要因は見られるが新規顧客獲得や既存顧客との取引拡大に注力し増収を目指す

- リテイルサポートサービス

- ▶ 既存顧客での補充業務内製化の広がりにより大幅な売上高減少を見込むが、新規顧客獲得や既存顧客の増店提案に注力し売上高獲得を目指す

- 海外棚卸サービス

- ▶ 海外顧客のニーズにあった商品開発と提案を進めることで売上高獲得を目指す

営業利益	2020.03期 実績	2021.03期 実績	2022.03期 計画	前期比	増減額
セグメント合計	4,277	4,720	<b>4,000</b>	84.7%	△720
国内棚卸サービス	3,594	3,719	<b>3,300</b>	88.7%	△419
リテイルサポートサービス	530	1,089	<b>600</b>	55.1%	△489
海外棚卸サービス	133	△109	<b>100</b>	—	+209
消去	19	21	<b>0</b>	—	△21

- 国内棚卸サービス
  - ▶ 未来に向けた足場固めとして次世代棚卸業務システムの開発や新規事業創出、DXへの投資を行う
- リテイルサポートサービス
  - ▶ 補充サービスと店舗改装サービスの生産性向上取り組み、あらたな高付加価値サービスの創出を行う
- 海外棚卸サービス
  - ▶ 収益構造を変化させる組織体制を構築し黒字確保を目指す



# 2022年3月期 重点取り組み

## ● 顧客にとって価値の高いリテールサポートサービスを確立する

技術と仕組みにより  
高品質の棚卸サービスを提供する

- 顧客が満足する品質基準を維持する仕組みを構築する
- 日程分散化提案と新棚卸業務システムの開発により品質と生産性向上を実現する
- 技術力の維持向上を目的とした積極的な教育投資を行う

Merchandising service(MDS)を  
リテールサポートサービスの  
柱となるサービスへ成長させる

- 店舗改装業務を再定義し、顧客にとって価値の高いMerchandising service (MDS) のサービスモデルを構築する
  - 取引先との共同プロジェクトによる顧客ニーズを捉えたサービス開発
  - サービス構築を見据えた受注体制の構築

補充サービスを再構築し  
高付加価値サービスへ進化させる

- 人手不足に対するサービスからリアル店舗の付加価値向上を支援するためのサービスモデルを構築する
- ロボット、データ、テクノロジーによる次世代サービスモデルを研究する

# ● 2030年に向けた新たな成長事業を創出する

※創造性と挑戦力を生み出す組織文化の醸成

社員が自由な意見を発信できる  
職場環境を実現する

- 心理的安全性の確保を目的とした施策を実行する
- 社員に対しマネジメント及びコンプライアンス教育を実施する
- 社内通報制度や公益通報制度の運用を強化する

社員の能力や長所が発揮できる  
職場環境を実現する

- 多様な人材が活躍できる人事制度を検討する
- ポストチャレンジ制度を検討する
- 社員の挑戦を支援する制度を構築する

組織機能の見直しと一元化により  
専門性の高い組織を構築する

- グループ各社の組織と役割を整理し一元化を推進する
  - 課題解決型営業を実現する組織の検討
  - サービス品質や実現力を高める組織の検討
  - サービス機能の集約化による作業効率向上

## ● 成長事業の創出に向けた投資を積極的に実行する

### サービス開発や新規事業を 戦略的に実行する

- 新規事業や新規サービスを生み出す経営組織を構築する
- 新規事業の社内公募制度を導入する
- 新規事業の社外公募制度を検討する

### デジタルトランスフォーメーション の取り組みを推進する

- 業務プロセスの見直しによりペーパーレス化90%を実現する
- 保有データを仕分けしグループデータ一元化に向けた準備を進める
- デジタル人材を育成するための教育投資を行う

### 教育投資により 社員のスキル向上を支援する

- 自発型学習を支援する仕組みと制度を構築する
- 社員のスキル習得支援制度を構築する
- 中長期計画を実現するための選抜型人材育成を推進する

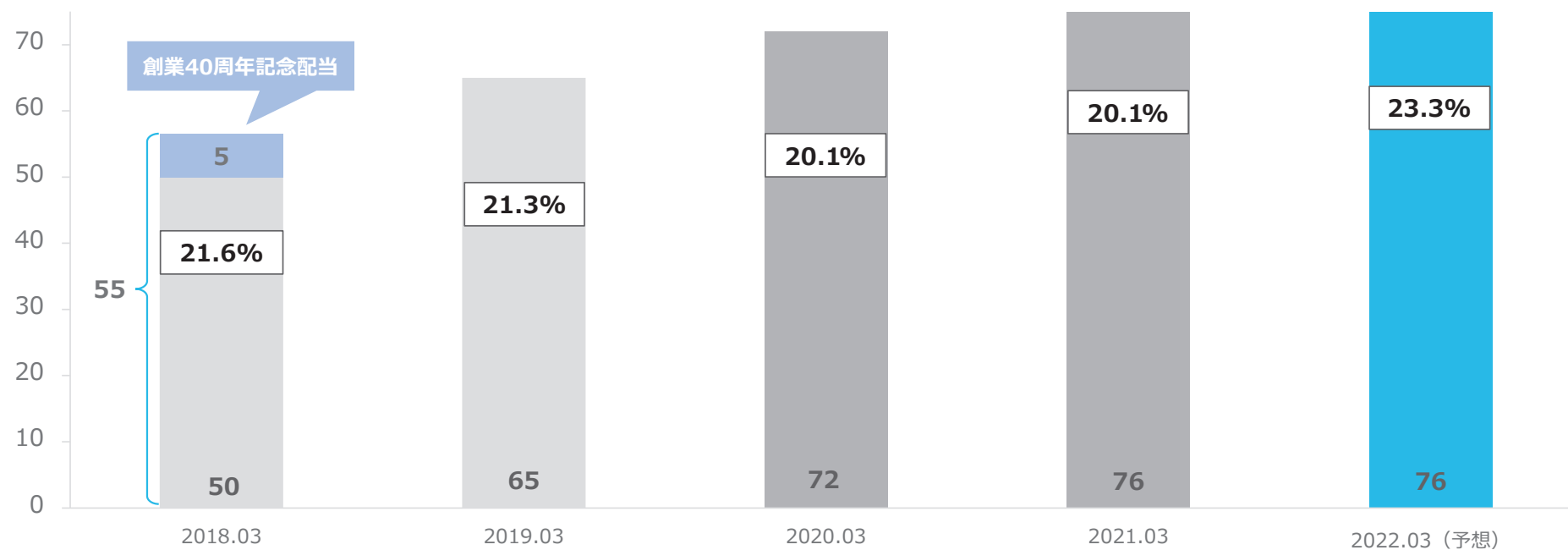
# 株主還元



- 2021.03期 配当は1株あたり76円（普通配当）
- 2022.03期 配当予想は1株あたり76円（普通配当）

% = 配当性向

配当額(円)



本資料における将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際には様々な要因によりこれらの予測とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

<<お問合せ先>>

経営企画室長 原田 光幸

TEL : 043-350-0911 / FAX:043-350-0800

E-mail : [ajis\\_ir@ajis-group.com](mailto:ajis_ir@ajis-group.com)



# FACT BOOK 2021年3月期（連結業績）



# AJIS

Your Partner in Retail Solutions

## 株式会社エイジス

TEL	043-350-0911
FAX	043-350-0800
E-mail	ajis_ir@ajis-group.com
HP	<a href="https://www.ajis.jp">https://www.ajis.jp</a>



**JASDAQ**

証券コード：4659

〈本資料に関するお問い合わせ先：経営企画室長 原田 光幸〉



営業実績

業績

決算期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期	2021.03期
売上高(千円)	25,829,935	26,870,001	27,669,932	28,402,305	27,966,137
対前年伸長率(%)	108.4	104.0	103.0	102.6	98.5
国内棚卸サービス ※1					
棚卸受託収入(千円)	17,039,120	16,862,025	16,713,639	16,332,545	15,731,494
コンビニエンスストア(千円)	3,966,950	3,784,260	3,628,826	3,559,164	3,419,624
スーパーマーケット(千円)	2,443,386	2,439,334	2,437,846	2,454,178	2,226,420
ホームセンター・ドラッグストア(千円)	3,707,243	3,719,101	3,782,656	3,724,984	3,814,235
書店(千円)	836,019	705,534	663,446	628,600	526,505
GMS(千円)	2,449,327	2,460,022	2,497,666	2,488,575	2,414,163
専門店等(千円)	3,636,192	3,753,772	3,703,150	3,477,041	3,330,546
ロイヤリティ収入(千円)	185,044	181,158	185,429	192,359	183,449
その他(千円)	682,820	489,203	448,537	704,045	794,814
リテイルサポートサービス(千円) ※2	5,804,469	7,009,222	7,616,979	8,598,859	9,487,196
海外棚卸サービス(千円) ※3	2,118,480	2,328,391	2,705,394	2,574,495	1,769,183
売上総利益(千円)	6,872,520	7,475,193	8,401,843	8,787,637	9,199,238
売上総利益率(%)	26.6	27.8	30.4	30.9	32.9
営業利益(千円)	3,058,799	3,258,251	3,778,729	4,277,571	4,720,967
営業利益率(%)	11.8	12.1	13.7	15.1	16.9
経常利益(千円)	3,089,290	3,309,438	3,828,776	4,343,706	4,862,950
経常利益率(%)	12.0	12.3	13.8	15.3	17.4
親会社株主に帰属する当期純利益	2,125,162	2,237,787	2,634,850	3,011,401	3,187,513
親会社株主に帰属する当期純利益率(%)	8.2	8.3	9.5	10.6	11.4

※1 国内棚卸サービス

株式会社エイジス(当社)

※2 リテイルサポートサービス

エイジスマーチャンダイジングサービス株式会社、エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング株式会社、株式会社ロウブ

※3 海外棚卸サービス

エイジスビジネスサポート株式会社、艾捷是(上海)商務服務有限公司、AJIS (MALAYSIA) SDN. BHD.、愛捷是(広州)商務服務有限公司  
愛捷是(北京)商務服務有限公司、AJIS (HONG KONG) CO., LTD.、AJIS (THAILAND) CO., LTD.、AJIS (VIETNAM) CO., LTD.

収益および効率性

決算期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期	2021.03期
期末総資産（千円）	15,322,028	17,876,486	18,846,955	21,357,481	24,536,800
総資産回転率（回）	1.8	1.6	1.5	1.4	1.2
総資産当期純利益率(ROA)（%）	14.7	13.5	14.3	15.0	13.9
自己資本（千円）	11,463,730	13,425,933	14,212,784	16,651,606	19,268,799
純資産（千円）	11,593,181	13,600,858	14,428,444	16,909,221	19,631,623
自己資本利益率(ROE)（%）	20.2	18.0	19.1	19.5	17.7
株主資本配当率（DOE）（%）	3.4	3.9	4.1	3.9	3.6
期末従業員数（人）	671	718	780	814	845
期末嘱託社員数(※1)	5,752	5,735	5,367	5,319	5,051
期末従業員1人当たり売上高（千円）	38,495	37,423	35,474	34,892	33,096
期末従業員1人当たり当期純利益（千円）	3,167	3,117	3,378	3,700	3,772

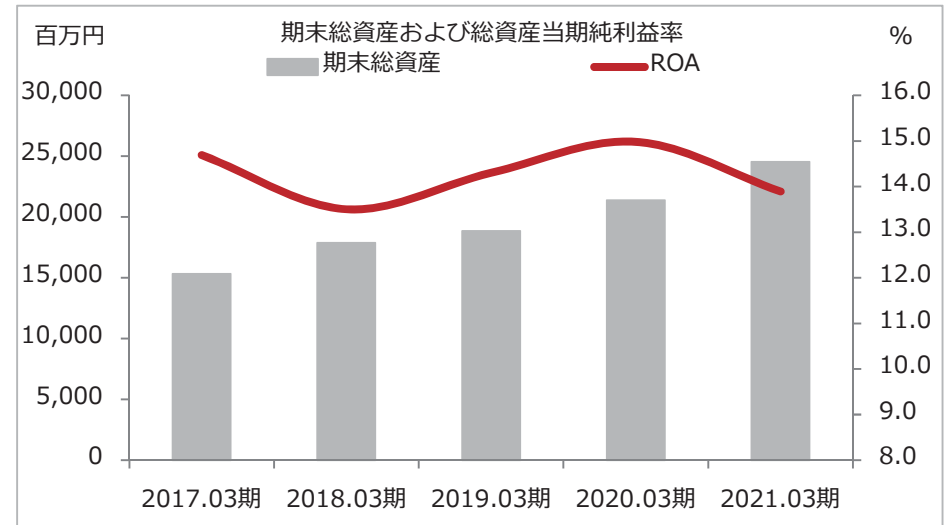
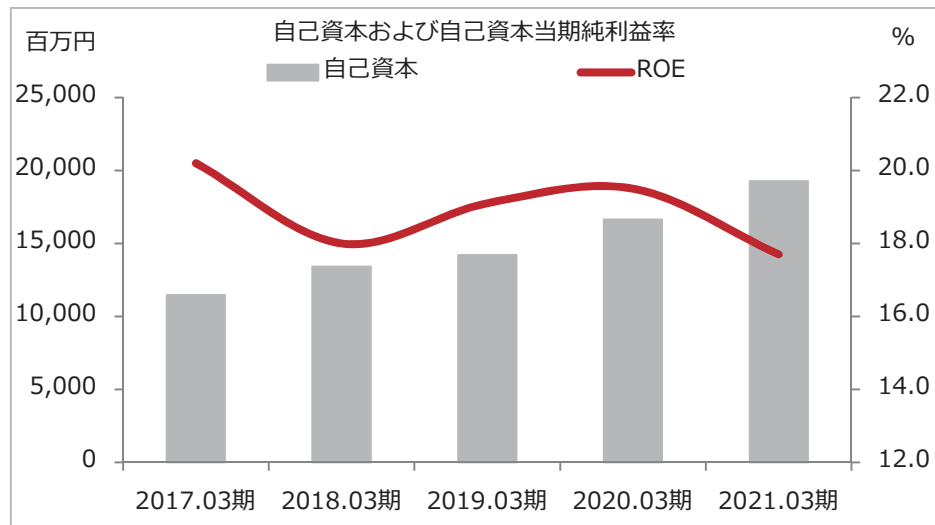
注：総資産回転率=売上高/総資産（期首・期末平均）

総資産当期純利益率(ROA)=親会社に帰属する当期純利益/総資産（期首・期末平均）

自己資本利益率(ROE)=親会社に帰属する当期純利益/自己資本（期首・期末平均）

株主資本配当率(DOE)=ROE×配当性向

※1嘱託社員(契約社員を含む)の人員数は、年間の平均人数を記載



## 財務分析

### 安定性1

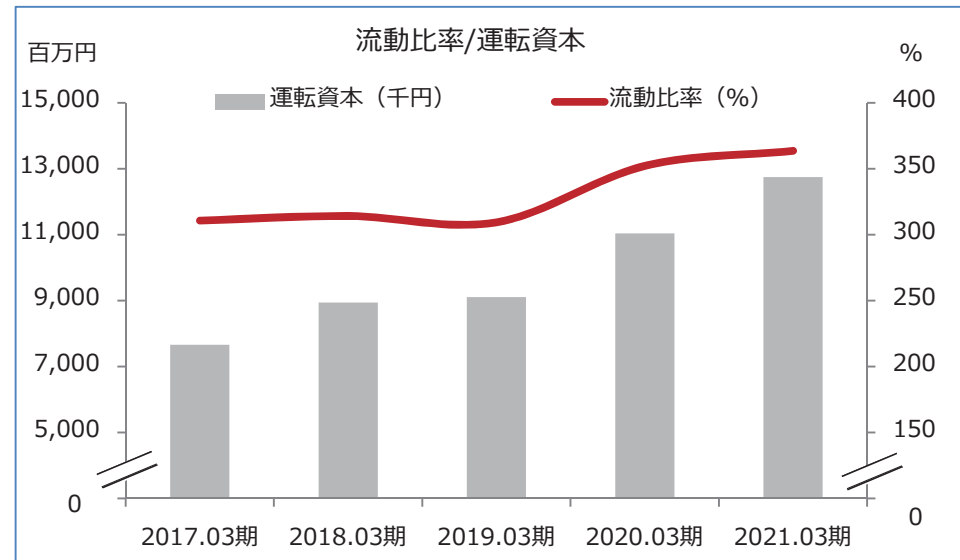
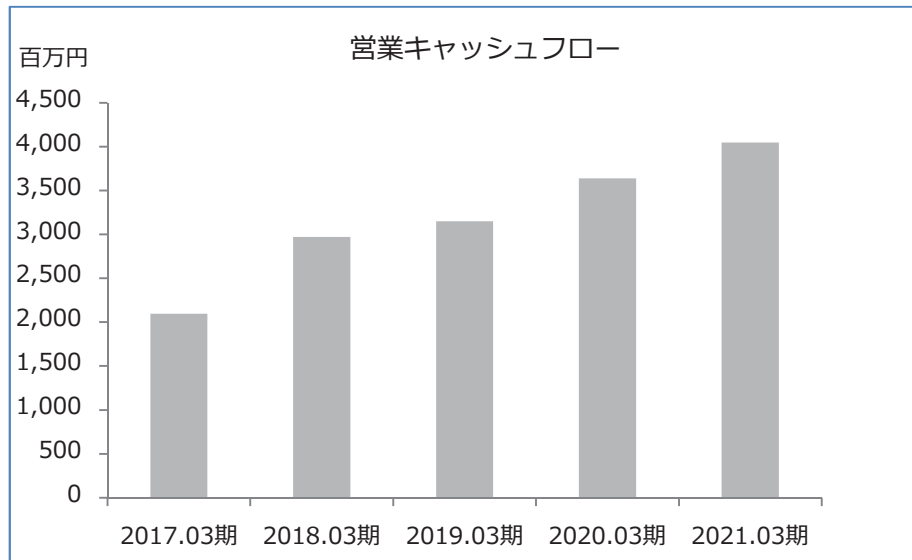
決算期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期	2021.03期
流動比率 (%)	310.7	314.2	309.4	352.2	363.6
流動資産 (千円)	11,286,036	13,114,307	13,447,664	15,410,096	17,582,390
流動負債 (千円)	3,632,780	4,174,388	4,346,133	4,375,954	4,835,404
運転資本 (千円)	7,653,256	8,939,919	9,101,531	11,034,142	12,746,985
営業キャッシュフロー (千円)	2,095,006	2,972,109	3,150,371	3,637,633	4,047,337
減価償却費 (千円)	396,195	464,945	384,687	366,335	324,835
売上債権回転期間 (カ月)	1.6	1.7	1.7	1.6	1.6
売上債権 (千円)	3,604,327	3,971,197	3,954,156	3,797,975	3,699,150

注：流動比率＝流動資産（期末）／流動負債（期末）

運転資本＝流動資産（期末）－流動負債（期末）

減価償却費は有形固定資産及び無形固定資産、繰延資産に対する償却費合計

売上債権回転期間＝売上債権（期首・期末平均）／1カ月当たり売上高



## 財務分析

### 安定性2

決算期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期	2021.03期
自己資本比率 (%)	74.8	75.1	75.4	78.0	78.5
固定比率 (%)	34.8	35.0	37.4	35.2	35.4
固定長期適合率 (%)	34.5	34.8	37.2	35.0	35.3
固定資産 (千円)	4,035,992	4,762,178	5,399,291	5,947,384	6,954,410
固定負債 (千円)	96,066	101,240	72,377	72,304	69,772
インタレスト・カバレッジ (倍)	1,926.2	3,441.3	2,854.8	2,994.5	7,088.3
受取利息・受取配当金 (千円)	13,313	18,784	27,753	31,338	41,872
支払利息 (千円)	700	1,207	1,427	888	570
有利子負債 (千円)	92,709	77,255	102,325	71,172	84,865
デッド・エクイティ・レシオ (%)	0.8	0.6	0.7	0.4	0.4

注：自己資本比率 = 自己資本 (期末) / 総資産 (期末)

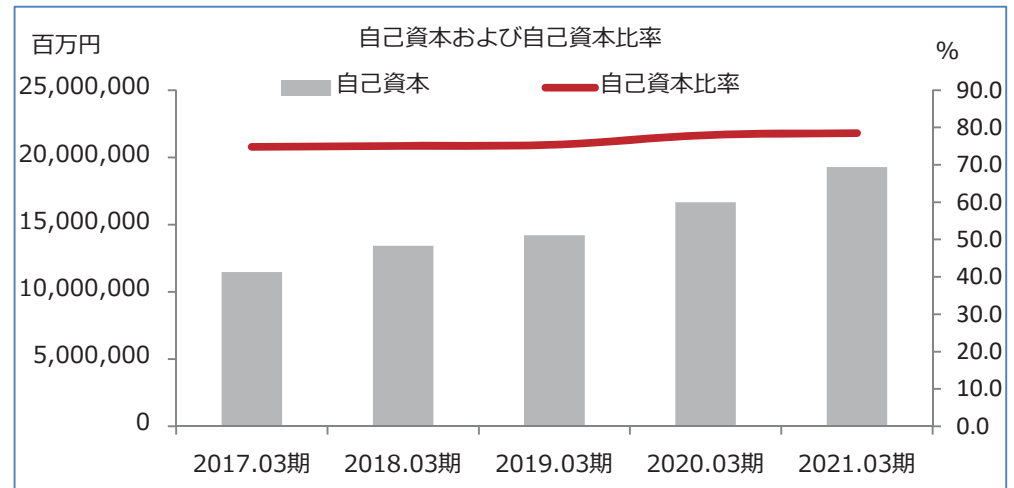
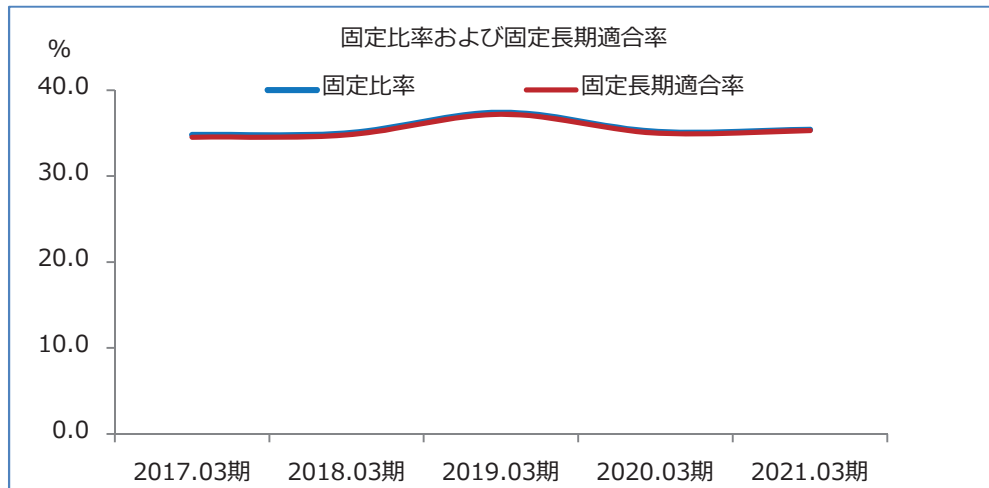
固定比率 = 固定資産 (期末) / 純資産 (期末)

固定長期適合率 = 固定資産 (期末) / {純資産 (期末) + 固定負債 (期末)}

インタレスト・カバレッジ = キャッシュフロー / 利払い

有利子負債 = 短期借入金および1年以内返済予定の長期借入金 + 社債および長期借入金

デッド・エクイティ・レシオ = 有利子負債 (期末) / 純資産 (期末)



## 1株当たりデータ

決算期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期	2021.03期
1株当たり当期純利益 (円) ※1	241.34	254.13	304.55	358.18	378.94
1株当たり純資産 (円) ※1	1,301.86	1,524.72	1,690.92	1,980.27	2,290.28
1株当たり配当金 (円) ※2	80	55	65	72	76
配当性向 (%)	16.6	21.6	21.3	20.1	20.1
株価収益率 (倍)	13.01	11.79	11.51	5.45	10.11
期末発行済株式総数 (株) <自己株式を除く>	4,402,836	8,805,543	8,405,373	8,408,768	8,413,291

注：株価収益率に使用した株価は各決算期末日（3月31日の終値）の株価を使用しております。

※1 当社は、2017年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式を分割しましたが、2015年3月期の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株あたりの純利益および純資産を算定しております。

※2 当社は、2017年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式を分割しましたが、2015年3月期から2017年3月期までの会計期間においては当該株式分割前の実際の配当の額を記載しております。

## 資本移動

1996年11月28日	有償一般募集	入札による募集350,000株、発行価格960円、資本繰入額480円、払込金総額473,480千円 入札によらない募集150,000株、発行価格1,240円、資本繰入額480円、払込金総額186,000千円
2000年5月19日	株式分割	1：1.2 これにより発行済株式数は4,896,000株になりました
2001年8月1日	1単位の株式数の変更	1単位の株式数を1,000株から200株へ変更いたしました
2002年1月4日	1単位の株式数の変更	1単位の株式数を200株から100株へ変更いたしました
2004年5月20日	株式分割	1：1.1 これにより発行済株式数は5,385,600株になりました
2017年4月1日	株式分割	1：2 これにより発行済株式数は10,771,200株になりました



連結貸借対照表

(単位：千円)

決算期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期	2021.03期
資産の部					
流動資産					
現金及び預金	7,247,793	8,690,632	9,152,203	11,388,410	13,296,108
受取手形及び売掛金	3,604,327	3,971,197	3,954,156	3,797,975	3,699,150
有価証券	-	-	100,000	-	305,990
リース投資資産	5,919	3,170	421	-	-
貯蔵品	40,350	46,039	67,810	27,816	46,235
その他	387,646	403,267	173,073	195,894	234,906
流動資産合計	11,286,036	13,114,307	13,447,664	15,410,096	17,582,390
固定資産					
建物及び構築物（純額）	547,294	525,760	503,585	480,194	448,489
工具、器具及び備品（純額）	256,860	333,960	272,805	180,100	215,975
土地	1,276,394	1,276,394	1,276,394	1,276,394	1,276,394
その他（純額）	672	456	186	386	6,193
有形固定資産合計	2,081,222	2,136,572	2,052,972	1,937,075	1,947,053
無形固定資産	460,081	584,056	739,971	879,975	811,767
投資有価証券	1,033,004	1,584,735	1,966,874	2,529,948	3,489,998
繰延税金資産	15,239	1,990	244,517	238,286	354,856
その他	446,444	454,823	394,954	362,097	350,735
投資その他の資産合計	1,494,688	2,041,550	2,606,346	3,130,332	4,195,590
固定資産合計	4,035,992	4,762,178	5,399,291	5,947,384	6,954,410
資産合計	15,322,028	17,876,486	18,846,955	21,357,481	24,536,800

連結貸借対照表

(単位：千円)

決算期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期	2021.03期
負債の部					
短期借入金	92,709	77,255	84,973	60,000	77,207
1年内返済予定の長期借入金	-	2,352	6,179	3,513	3,545
リース債務	2,748	2,748	421	-	-
未払金	1,967,598	2,200,460	2,363,303	2,170,125	2,227,293
未払法人税等	495,023	598,991	765,160	736,534	1,164,008
未払消費税等	321,174	463,273	312,317	634,126	632,821
賞与引当金	403,450	431,222	454,813	444,407	435,462
役員賞与引当金	15,340	20,641	6,647	9,249	5,440
その他	334,735	377,441	352,316	317,998	289,625
流動負債合計	3,632,780	4,174,388	4,346,133	4,375,954	4,835,404
長期借入金	-	17,351	11,172	7,658	4,112
リース債務	3,170	421	-	-	-
退職給付に係る負債	3,685	11,240	2,775	6,987	8,141
その他	89,210	72,226	58,429	57,659	57,518
固定負債合計	96,066	101,240	72,377	72,304	69,772
負債合計	3,728,847	4,275,628	4,418,511	4,448,259	4,905,177
資本金	475,000	475,000	475,000	475,000	475,000
資本剰余金	491,820	492,088	492,088	498,213	502,232
利益剰余金	12,940,957	14,826,518	16,956,370	19,421,423	22,003,505
自己株式	△ 2,463,565	△ 2,463,941	△ 3,746,490	△ 3,740,906	△ 3,733,302
株主資本合計	11,444,212	13,329,665	14,176,968	16,653,729	19,247,434
その他有価証券評価差額金	41,880	85,891	73,514	47,637	93,917
為替換算調整勘定	△ 22,363	10,374	△ 37,699	△ 49,761	△ 72,552
非支配株主持分	129,451	174,925	215,660	257,615	362,823
純資産合計	11,593,181	13,600,858	14,428,444	16,909,221	19,631,623
負債純資産合計	15,322,028	17,876,486	18,846,955	21,357,481	24,536,800

連結損益計算書

(単位：千円)

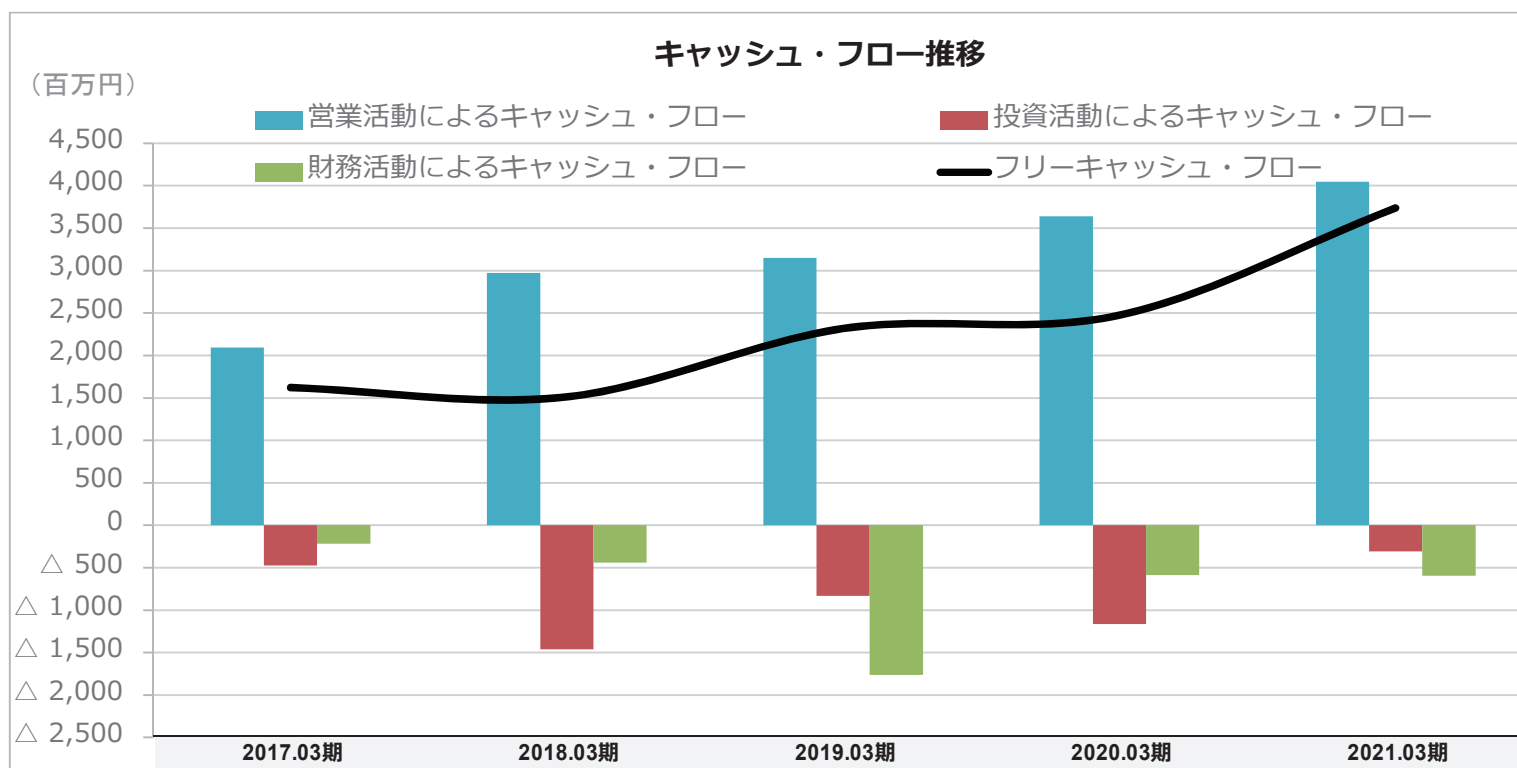
決算期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期	2021.03期
売上高	25,829,935	26,870,001	27,669,932	28,402,305	27,966,137
売上原価	18,957,414	19,394,807	19,268,088	19,614,668	18,766,899
売上総利益	6,872,520	7,475,193	8,401,843	8,787,637	9,199,238
<b>売上総利益率</b>	<b>26.6%</b>	<b>27.8%</b>	<b>30.4%</b>	<b>30.9%</b>	<b>32.9%</b>
販売費及び一般管理費	3,813,720	4,216,941	4,623,113	4,510,065	4,478,270
営業利益	3,058,799	3,258,251	3,778,729	4,277,571	4,720,967
<b>営業利益率</b>	<b>11.8%</b>	<b>12.1%</b>	<b>13.7%</b>	<b>15.1%</b>	<b>16.9%</b>
受取利息	7,277	12,190	20,209	23,280	33,547
受取配当金	6,036	6,594	7,543	8,058	8,324
その他	43,809	46,380	47,289	56,766	116,899
営業外収益	57,124	65,166	75,043	88,104	158,772
支払利息	700	1,207	1,427	888	570
その他	25,932	12,772	23,568	21,081	16,219
営業外費用	26,633	13,980	24,995	21,969	16,790
経常利益	3,089,290	3,309,438	3,828,776	4,343,706	4,862,950
<b>経常利益率</b>	<b>12.0%</b>	<b>12.3%</b>	<b>13.8%</b>	<b>15.3%</b>	<b>17.4%</b>
特別利益	-	1,577	5,299	25,660	-
特別損失	8,440	17,149	2,346	976	23,355
税金等調整前当期純利益	3,080,849	3,293,866	3,831,730	4,368,391	4,839,594
<b>税金等調整前当期純利益率</b>	<b>11.9%</b>	<b>12.3%</b>	<b>13.8%</b>	<b>15.4%</b>	<b>17.3%</b>
法人税、住民税及び事業税	865,233	1,016,440	1,211,414	1,295,348	1,686,233
法人税等調整額	56,480	△ 10,292	△ 59,784	11,387	△ 136,412
非支配株主に帰属する当期純利益	33,973	49,931	45,249	50,253	102,260
親会社株主に帰属する当期純利益	2,125,162	2,237,787	2,634,850	3,011,401	3,187,513
<b>親会社株主に帰属する当期純利益率</b>	<b>8.2%</b>	<b>8.3%</b>	<b>9.5%</b>	<b>10.6%</b>	<b>11.4%</b>



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

決算期	2017.03期	2018.03期	2019.03期	2020.03期	2021.03期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,095,006	2,972,109	3,150,371	3,637,633	4,047,337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 472,588	△ 1,459,448	△ 832,667	△ 1,163,029	△ 309,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 218,751	△ 440,727	△ 1,762,808	△ 586,614	△ 594,664
フリーキャッシュ・フロー	1,622,418	1,512,661	2,317,704	2,474,604	3,738,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 634	14,870	△ 30,551	△ 7,712	△ 6,564
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,403,031	1,086,804	524,343	1,880,277	3,136,923
現金及び現金同等物の期首残高	4,640,819	6,278,282	7,365,086	7,912,520	9,850,526
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	234,431	-	23,090	-	-
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	-	57,727	-
現金及び現金同等物の期末残高	6,278,282	7,365,086	7,912,520	9,850,526	12,987,449



◆ 2022年3月期連結業績計画

(単位：百万円、%)

	2021年3月期実績			2022年3月期計画						コメント
			前期比	2022年3月期上期計画						
	構成比/売比			構成比/売比	前期比		構成比/売比	前期比		
売上高	27,966	100.0	△ 1.5	12,950	100.0	△ 1.5	27,300	100.0	△ 2.4	
国内棚卸サービス	16,709	59.7	△ 3.0	8,175	63.1	4.7	17,050	62.5	2.0	
リテイルサポートサービス	9,487	33.9	10.3	3,805	29.4	△ 17.7	7,950	29.1	△ 16.2	
海外棚卸サービス	1,769	6.3	△ 31.3	970	7.5	35.5	2,300	8.4	30.0	
売上原価	18,766	67.1	△ 4.3	8,578	66.2	△ 4.3	17,922	65.6	△ 4.5	
売上総利益	9,199	32.9	4.7	4,372	33.8	4.6	9,378	34.4	1.9	
販売費及び一般管理費	4,478	16.0	△ 0.7	2,692	20.8	27.6	5,378	19.7	20.1	
営業利益	4,720	16.9	10.4	1,680	13.0	△ 18.8	4,000	14.7	△ 15.3	
営業外収益	158	0.6	80.2	38	0.3	△ 50.2	72	0.3	△ 54.7	
営業外費用	16	0.1	△ 23.6	16	0.1	54.8	12	0.0	△ 28.5	
経常利益	4,862	17.4	12.0	1,702	13.1	△ 20.3	4,060	14.9	△ 16.5	
当期純利益	3,187	11.4	5.8	1,115	8.6	△ 19.5	2,740	10.0	△ 14.0	

会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	株式会社エイジス	本社所在地	〒262-0032 千葉市花見川区幕張町4丁目544番4 TEL043(350)0888 FAX043(350)0800						
設立	1978年5月	決算期	3月						
資本金	475,000,000円	発行済株式数	10,771,200株						
事業内容	流通業周辺サービス ・実地棚卸(商品/資産等) ・リテイルサポートサービス (集中補充/改装/リサーチ等) ・広告企画/制作	事業所計 85拠点 ＜直営＞45拠点	＜FC＞39拠点						
役員	代表取締役社長 齋藤 昭生 常務取締役 高橋 一人 常務取締役 山根 洋行 常務取締役 福田 久也 取締役 森 和弘 (社外取締役) 取締役 鈴木 政士 (社外取締役) 常勤監査役 増子 泰由 (社外監査役) 常勤監査役 鎌田 陽一 監査役 船橋 茂紀 (社外監査役)	青森市 秋田市 盛岡市 仙台市宮城野区 山形市 郡山市 宇都宮市 小山市 新潟市中央区 水戸市 高崎市 長野市 松本市	さいたま市大宮区 熊谷市 鶴ヶ島市 千葉市花見川区 千葉市中央区 市原市 柏市 東京都新宿区 八王子市 東京都墨田区 横浜市西区 福井市	厚木市 町田市 静岡市葵区 沼津市 浜松市中区 名古屋市中村区 四日市市 岐阜市 金沢市 富山市 福井市	大阪市淀川区 堺市堺区 和歌山市 奈良市 東大阪市 京都市下京区 神戸市中央区 岡山市北区 姫路市 松江市	札幌市中央区 札幌市北区 苫小牧市 函館市 旭川市 北見市 帯広市 釧路市 今治市	高松市 徳島市 徳島県板野郡 松山市 宇和島市 高知市 新居浜市 丸亀市 今治市	広島市中区 広島市安佐南区 福山市 山口市 下関市 大分市 福岡市博多区 福岡市東区 福岡市南区 大野城市 久留米市 長崎市 佐世保市 佐賀市	北九州市小倉南区 熊本市中央区 八代市 宮崎市 都城市 鹿児島市 那覇市 沖縄市

子会社 (\*は連結子会社)

<b>(国内子会社)</b>		
エイジスマーチャンダイジングサービス株式会社 (*)	(千葉市花見川区)	マーチャンダイジングサービス)
エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング株式会社 (*)	(千葉市花見川区)	カスタマーサービス・チェック)
株式会社ロウプ (*)	(東京都新宿区)	広告企画制作)
エイジスコーポレートサービス株式会社	(千葉市花見川区)	事務代行業務、障害者特例子会社)
エイジスリテイルサポート研究所株式会社	(千葉市花見川区)	サービスの研究開発及びコンサルテーション)
<b>(海外子会社)</b>		
エイジスビジネスサポート株式会社 (*)	(大韓民国ソウル特別市)	実地棚卸サービス事業)
大連愛捷是科技有限公司	(中華人民共和国遼寧省大連市)	システム開発および棚卸機器の開発・製造)
艾捷是(上海)商務服務有限公司 (*)	(中華人民共和国上海市)	実地棚卸サービス事業)
AJIS (MALAYSIA) SDN. BHD.(*)	(マレーシア・セランゴール州)	実地棚卸サービス事業)
愛捷是(広州)商務服務有限公司 (*)	(中華人民共和国広州市)	実地棚卸サービス事業)
愛捷是(北京)商務服務有限公司 (*)	(中華人民共和国北京市)	実地棚卸サービス事業)
AJIS (THAILAND) CO., LTD.(*)	(タイ・バンコク都)	実地棚卸サービス事業)
AJIS (HONG KONG) CO., LTD.(*)	(中華人民共和国香港特別行政区)	実地棚卸サービス事業)
AJIS (VIETNAM) CO., LTD.(*)	(ベトナム・ホーチミン市)	実地棚卸サービス事業)
<b>(関連会社)</b>		
台湾愛捷是股份有限公司	(中華民国台北市)	実地棚卸サービス事業)
AJIS PHILIPPINES, INC.	(フィリピン・マニラ市)	実地棚卸サービス事業)